



ワンニャン通信

今年も昨年に負けないくらい暑い夏となっております。
節電対策に琉球朝顔を植えましたが、仕事から帰る頃には葉っぱもダラリとなっています。
植物にも「一日お疲れさん！」と声をかけたくなるほどです。



皮膚病

春先から夏にかけて多くなるのが皮膚疾患。先月は皮膚の構造についての特集でした。 今月は、皮膚病についてのお話です。

皮膚病と言っても原因や症状も様々 一過性のものや生涯お付き合いをしないといけない厄介なものまで色々あります。

アレルギー

免疫学的機構により引き起こされる状態で ノミや食物に対するアレルギーなど皮膚や血液の疾患として見られます。

ノミアレルギーは背中から腰にかけての湿疹や脱毛が特徴です。

ノミが寄生し吸血することにより発症するので ノミ駆除することで予防することができます。

食物アレルギーは原因となっている可能性のある成分を排除した食餌を与えて発症を抑えることができます。

アトピー性皮膚

アレルギーの一種で遺伝的要因が関与しています。軽い刺激でも容易に発症します。

アレルゲンを特定する事 また、多種のアレルゲンをすべて排除して生活を送る事

は簡単ではありません。かゆみを軽減してあげながら生涯うまくお付き合いをしていくことが重要です。

膿皮症

皮膚に常在する**ブドウ球菌の増殖**によって発症します。湿疹 脱毛 ただれなどが見られかゆみを伴います。

抗生物質の投与や抗ヒスタミン剤でかゆみを軽減します。また**抗菌作用のあるシャンプー**なども併用すると効果的です。

脂漏症

異常な皮脂の分泌と湿疹が見られる皮膚病です。**細菌感染やマラセチア**などの真菌感染 内分泌疾患 アレルギーなどで発症します。

抗菌剤や抗生物質の投与にあわせて**角質溶解作用のあるシャンプー**の使用が効果的です。

皮膚糸状菌症

真菌感染による皮膚病でいわゆる**カビ**といわれる。人間にも感染する可能性がある。なので皮膚の弱い飼い主さんは取り扱いに注意が必要です。発赤 湿疹 かさぶた 脱毛があり放射線状に拡大します。

抗真菌剤の投与 **抗真菌作用のあるシャンプー**の使用が効果的です。

外部寄生

カイセン症 ニキビダニ症とも顕微鏡で見るほどの極小のダニが皮膚内に寄生し上皮を食したり 毛穴に住み着いて**強いかゆみや炎症**を引き起こします。

治療は**寄生虫を駆除**すること。完全に駆除するまでにかなりの時間がかかりますが細胞性免疫異常などがない限り完治が可能です。

※見た感じは赤くて痒い同じ皮膚病にみえますが原因は様々・・・

ワンちゃんたちは手が使えません。痒みのストレスは相当つらいものと思われます

症状に応じた治療を早めに始めて快適な生活を・・・

